



# 2014

## 今年もよろしくお祝い申し上げます



### 理事長挨拶 ▶

昨年、会員の皆様並びに関係者の方々には大変お世話になりありがとうございました。ぱれっとも設立から丸30年を迎え組織体制が大きく変わった年となりました。レストラン Palette の閉店に伴い南山事務局長の就任、えびす・ぱれっとホーム施設長の交代、おかし屋ぱれっとの就労継続 B 型への方針転換、そして念願の認定 NPO の取得等、思い返せば激動の一年でした。こうした中、2 年目理事長職として邁進して来たのがステークホルダーとの「協働・共有」でした。ぱれっとスタッフと親・理事・ボランティアと共に、ぱれっと中期計画(3 年)を立てる目的で、数回勉強会を重ねてきました。組織運営についても取り上げ、とりわけ資金的に大きな課題である家賃負担の解決策として、移転の可能性や障がいのある人たちのニーズに対応しながら如何に夢のある事業を展開していくかについて、役割や世代を超えてグループワークを通してながら地域に根差したぱれっとの新規事業を語り合えたことは、新生ぱれっとにとって有意義な年でした。

今年は、行政も含めた地域との連携を意識した動きをしていきます。目下、渋谷区行政とは今までにない風通しの良い関係性が昨年からできつつあります。地域防災を意識した新規企画も予定しています。町会や関連団体と協働し、障がいのある人たちを中心とした防災レクリエーションプログラムです。東日本大震災から 3 年が経とうとしている今、東京でのあの混乱を教訓に、行政も巻き込みながら、準備想定しておかなければならないこと等、障がいのある人たちや家族の安心安全を確保しつつ、恵比寿の地元住民と連携を図りながらより地域に根差した事業展開を行なっていきます。

(理事長 相馬宏昭)





# 各事業からご挨拶



## ぱれっと事務局 ▶

昨年4月に新事務局長のポストに就き、約9か月間ひた走ってきた、というのが現在の率直な感想です。ぱれっとの関わりは長いものの、事務局長として見る景色はひと味もふた味も違うものでしたが、多くの皆様のご協力を頂きながら、総会やバザーといった大きな行事を何とか乗り越え、今後のビジョンを描くことも出来るようになってきたと思います。今年は中期計画をスタートさせる年になります。自立支援協議会始め、渋谷区内のつながりも今まで以上に濃いものにする必要があります。充実した一年にしたいと思います。(事務局長 南山達郎)

## たまり場ぱれっと ▶

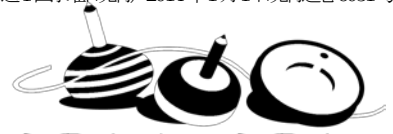
私事ではありますが、2013年は私の産休により臨時職員を雇用するなど、人事体制に変化がありました。そんな中、新しく繋がった企業との新規プログラムがスタートしたり、絆ミーティングで定期的に勉強会が行なわれるなど、活動が狭まることなく、充実したプログラムを実施することが出来ました。2014年も、新たな出会いとネットワークを広げ、たまり場に集う仲間たちと共に更に充実した一年にしてまいりますので、今年もよろしく願いいたします。

(たまり場ぱれっと職員 左右木歩)

## おかし屋ぱれっと ▶

新年のご挨拶を申し上げます。昨年は就労継続支援B型へ移行するなど、大きな変化のある年となりました。通所員一人ひとりの状況に合った職場環境を作るべく、第二工房を開所。新たな試みとして、ヘアアクセサリや雑貨の製造に取り組んできました。昨年も企業販売やたくさんのご注文を頂けたことで、毎日忙しく仕事ができ、大変充実した一年を過ごすことができました。さらに、新たなメンバーが加わったことで職場の雰囲気もよりにぎやかになりました。おかし屋ぱれっとを支え、ご協力下さる皆様に心から感謝致しますとともに、今年も一生懸命仕事に励んで参りますのでどうぞよろしくお願い致します。(副所長 長澤美佳)





## えびす・ぱれっとホーム ▶

明けましておめでとうございます。ぱれっとホームも設立より 20 年が経ちました。ホームで暮らす一人ひとは、可能な限り自立した生活を地域の中で実現する暮らしをめざして、日々を送っています。一方で福祉制度は、利用者の高齢化や専門的な支援を必要とする個々への対応など、複雑化したニーズに応えるべく今なお変化の途上にあります。目まぐるしい変化に翻弄されることなく、障がいのある人の尊厳を大切に考える社会の実現にむけて、スタッフや支援者と今後も取り組んでいきたいと思ひます。本年もよろしくお願ひ致します。(施設長 菅原睦子)

## ぱれっとインターナショナル・ジャパン (PIJ) ▶

明けましておめでとうございます。昨年の PIJ の活動は、インドで開催されたアジア知的障害会議に始まり、終わったという印象深い一年でした。障がいがあっても自分たちの言葉で発表する場と国を超えた交流が、全ての参加者の学びとなりました。会議後、主催団体の理事長が来日し、インドの障がい者福祉の現状を知る機会も与えられました。今年は、インドとの関係を深め、ぱれっとが現地の障がい者のためにどのような支援ができるのかその可能性を探るために、現地の NGO サマダンとパートナーシップを組み、進めていく一年となります。

(PIJ 代表 谷口奈保子)

## ぱれっとの家・いこっと ▶

昨年は久しぶりに空き室が埋まり、8 名の入居者で新たな年を迎えました。それぞれが自立した生活をしつつ、「いこっと」で出会った仲間をお互いに気遣いながら日々の暮らしを送っています。これまでに例のない暮らしの選択肢の一つとして、今なお注目を浴びていますが、広がるどころまでには至っていません。今年は「いこっと」ができて 4 年目に入ります。これまでの課題を整理するとともに、社会から求められる暮らしの場について、福祉の枠を超えて考える時間となりそうです。本年もよろしくお願ひ致します。(職員 菅原睦子)

